

第2章 位置と環境

三ツ松北塙外遺跡は貝塚市のはば中央部、大字「三ツ松」に所在し、近木川右岸の段丘上に位置する中世の集落跡である。現状 T.P.54~55 m である。東山丘陵から近木川方向に数多くの開析谷が伸び、谷をせき止め、ため池を造り農業用水として利用されている。本遺跡南には觀音信仰で知られる水間寺があり、本調査地は水間街道に面している。

周辺の遺跡としては北に奈良時代~平安時代の散布地である清况遺跡、中世の散布地である名越遺跡、古墳時代~近世の集落跡である名越西遺跡、中世の集落跡である鳥の池西遺跡、北東には飛鳥時代、奈良時代の須恵器窯が推定されている集原池遺跡、中世、近世の散布地である森 A 遺跡、中世の散布地である森 B 遺跡、平安、中世の散布地である森ノ大池遺跡、南には、中世の散布地であり、近年の調査で縄文土器、石器が出土している三ヶ山西遺跡多くの遺跡が存在する。

これらの遺跡のはか、中世末期に紀州根来寺の勢力下となって多くの城が築かれた。本遺跡周辺では、北に高井城跡、積善寺城跡、森城跡、南東に三ヶ山城跡、近木川を挟んで北西に千石堀城跡など多くの城跡が残る。



図3 調査位置図 (S=1/2500、上が座標北)

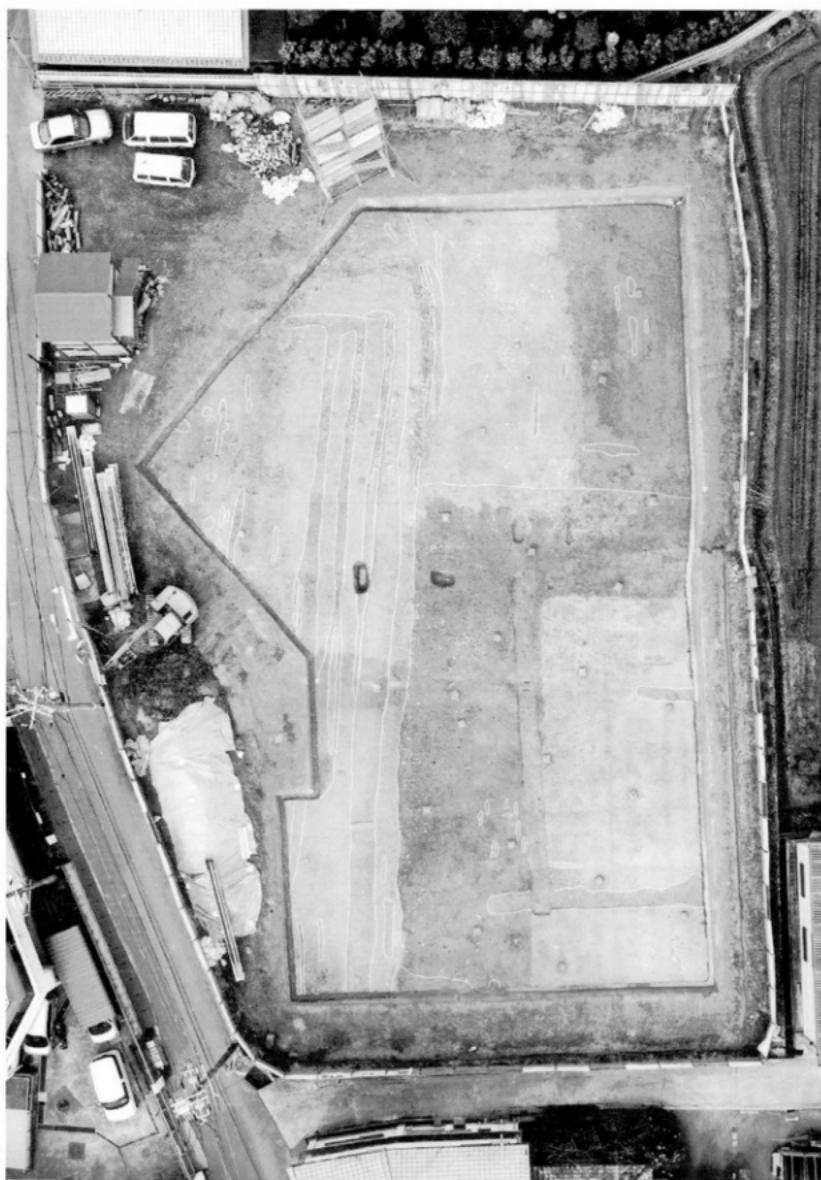


写真 1 調査区全景

図版2
検出遺構

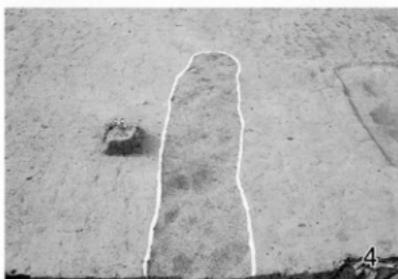
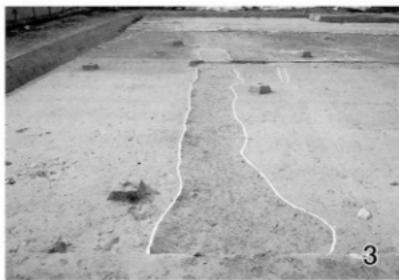
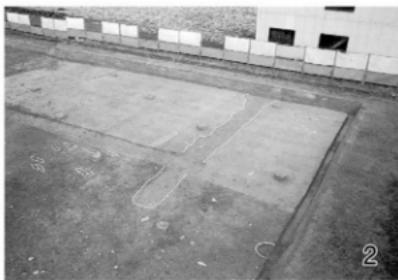
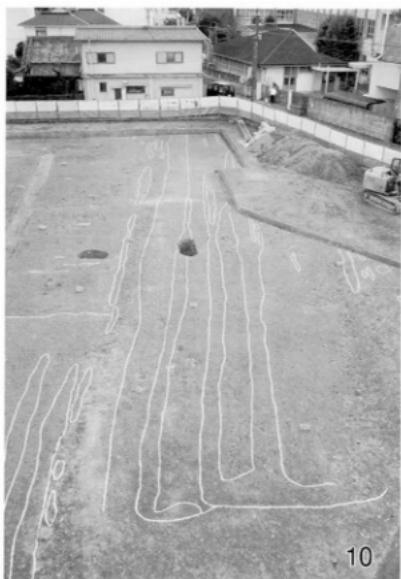
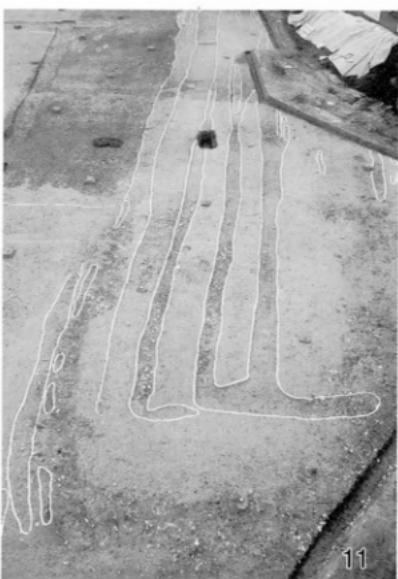


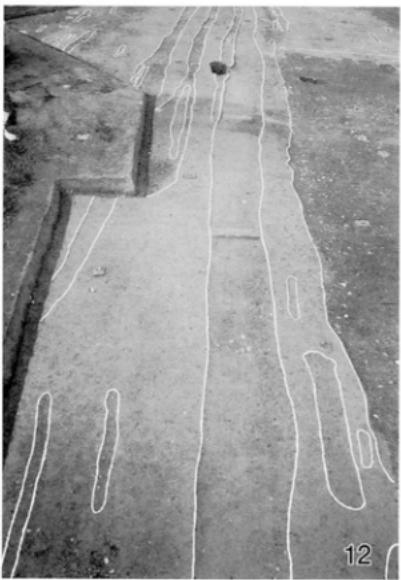
写真2・3・5 溝1、写真4 溝2、写真6・7 調査区南側
写真8 溝7・鋤溝群1、写真9 調査区西側



10



11



12



13



14

写真 10-11-13 溝4~6、写真 12-14 溝3、段差3

図版
4
検出遺構

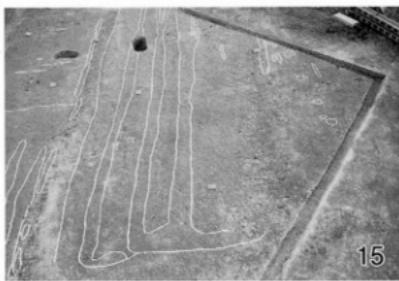
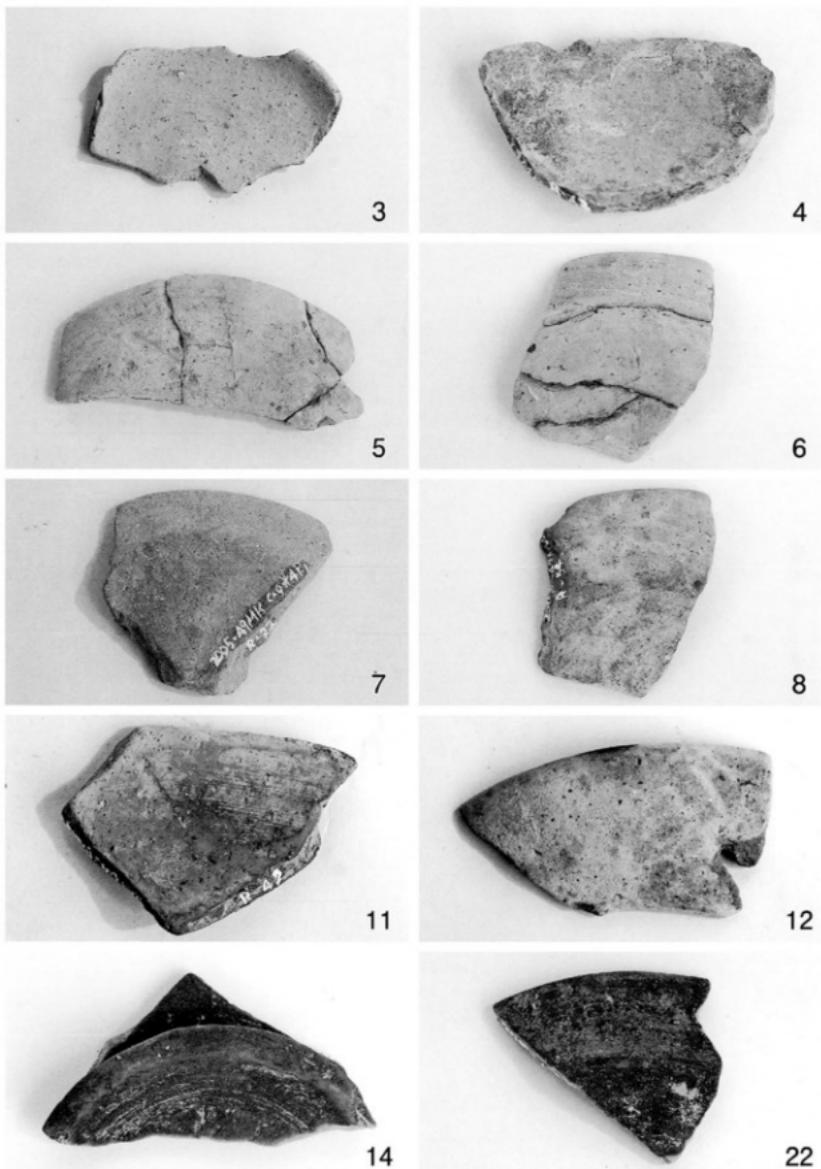


写真 15・16 段差 2、写真 17～20 段差 3、写真 21・22 鋤溝群 2

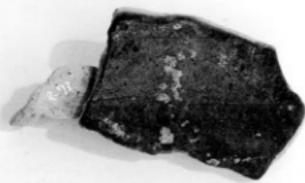


遺物包含層第4層出土土器

図版 6
出土遺物



15



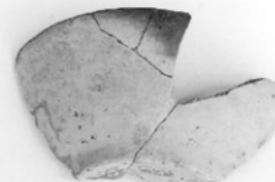
17



19



20



21

遺物包含層第5層(21)、遺物包含層第4層(15・17・19・20)出土黒色土器



23



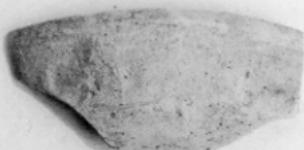
24



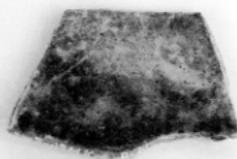
27



28



29



31



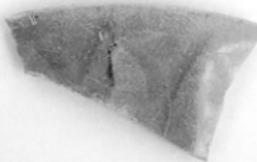
32



34

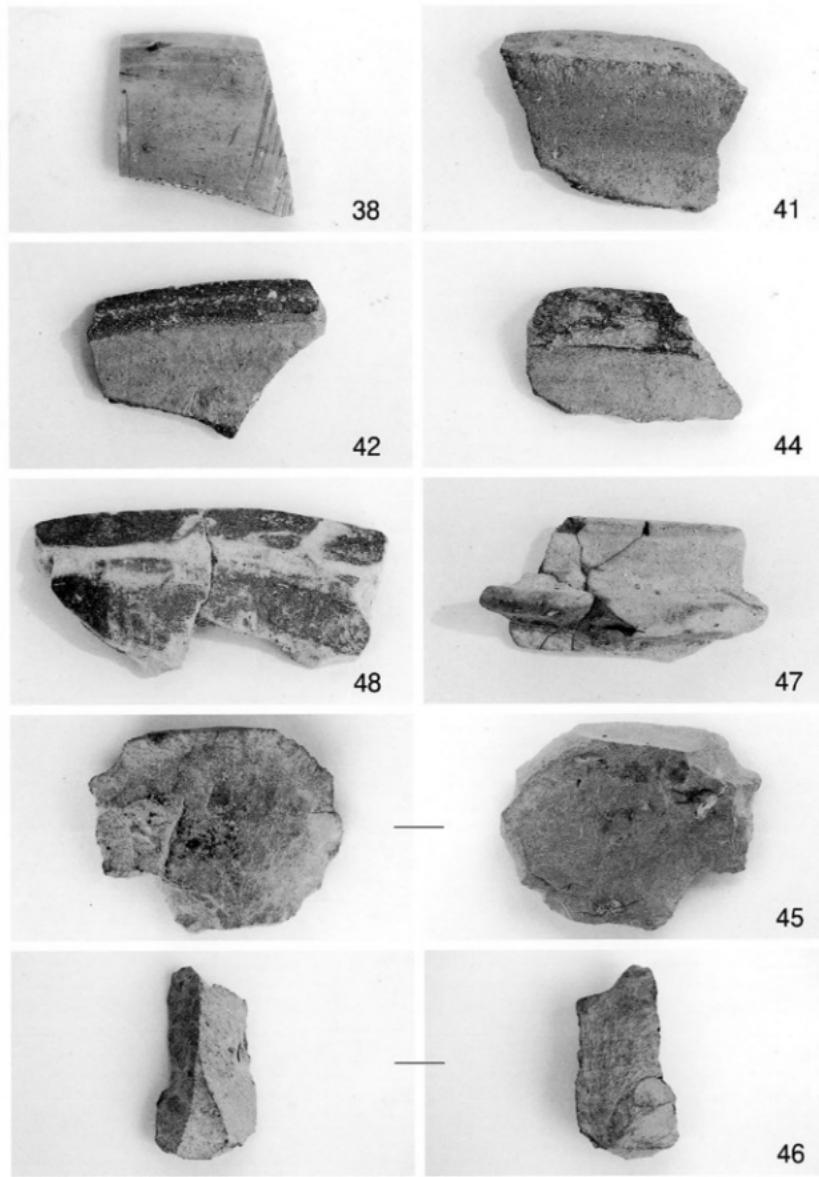


37



39

遺物包含層第4層（23・24・27～29・31・32・34）、遺物包含層第3層（37）出土土器



遺物包含層第5層（41）、遺物包含層第4層（38・42・44～47）、
遺物包含層第3層（48）出土遺物

